

2部

フィールド フィールド
現場から現場へ

雪 解 け

1 はじめに

私は、今年無事通信教育部を卒業し、現在は介護業界大手の株式会社が運営する介護付き有料老人ホーム（特定施設）で生活相談員として勤務しております。毎日お客様の生活を見守り、様々な形で支援を行い、ご家族の要望や苦情を受け付けたりと忙しい毎日を送っています。まだ、勤務を始めてから数カ月しか経っておりませんが、東北福祉大学で学んだことや経験したことを振り返って、それがどう役に立っているか、または学習の過程でどういう視点や考え方を持ったら学習が有用なものになるかを参考として挙げさせてもらいます。

2 レポート・スクーリング

私は、福祉業界についてほとんど未経験のまま通信教育部に入りました。他の同級生は業界で何年も働いていて、物事を実体験として身につけて知っている方が多く、そのお話はとても参考になりました。そういう友人を多く持ち、教えてもらうことも大事なことだと感じます。そこで、私が心がけていたことは常に、どうしてそうなっているのだろうかという視点を持ち、自分なりに調べてみたり、先生方に聞いたりして、気付いた課題、疑問点をそのままあやふやにせず、時間をかけ、解決していくことです。はじめは分からないことだらけだと思います。何をどうしたらよいか分からないことが分からない状態。でも分かることから一歩ずつ始めてみましょう。過程や進歩の速度は人それぞれですから、ご心配なく。全く

の初心者の私でも卒業できたのですから。

3 実習

私は地域包括支援センターで実習を行いました。地域包括は、今後増大しつつある高齢者を中心とした援助の方法、それにまつわる諸制度、人材等を幅広く学ぶことが最適であると思ったことと、出来てあまり時間が経っておらず、既存の枠にとらわれることのない新しい支援の方法の可能性を追求できる組織ではないかと思ったからです。実習は、実習生側が何を学びたいのかを明確にすることが大事です。実習計画はある程度、形式的なものが求められますが、自分が実習で何を得たいのか、求める事柄を実習先の指導者に提示する必要があります。それが妥当なものかどうかは実習生の経験、知識等から先生方がある程度判断して下さると思います。また実習先の指導者も、目的を示せば、それに沿った実習計画を立てやすく、効果的な実習が行えるでしょう。

4 国家試験

国家試験対策は、入学した年の秋頃から始めました。私の場合、右も左も分からない全くの初心者でしたので、早くから準備する必要があったからです。市販の学習書を買ってきて、お風呂に入っている間に20分間読んでいたり、勉強漬けの日々とは言えませんが毎日欠かさずに時間を取って規則的、継続的に行っておりました。はじめのうちは、知識の暗記による定着を中心に行いました。社会福祉士試験は、その知識を知っているかどうかの問題が多いので、自分のコントロールできる範囲内で過去問の知識の暗記を3回位繰り返しました。9月以降の直前期は、問題演習を中心に、大学での特講、受験予備校の問題演習講座などで勉強しました。試験

直前には、今までの勉強の過程を通じ、社会福祉士として求められているもの、必要とされている行動や考え方がイメージ出来れば、本試験で見たこともない問題が出たとしても、点数を取れる可能性は高くなると思います。

5 実社会に出て

以上のような学生生活で学んだことをどのように生かしているかが大切なのですが、実際の忙しい現場では日々の業務に追われ、または解決困難な課題やそれにまつわる複雑な人間関係も絡み合い、正直なところ、学校で学んだことで全てを解決してくれるわけではありません。ただ1日や1週間の業務が終わって課題が残った時、学校で学んだことを振り返ったり、教科書を開いたりすることで解決の糸口になることが多くあると感じます。それから、福祉業界はサービス業です。学校で学ぶ際、利用者にサービスを提供して対価を得ているという前提を常に頭に入れておくことも大事なことです。そうすることで、単にお世話をしているといった時代にそぐわない利用者に対する接し方が改善できますし、サービス提供に関して大筋誤った判断も防ぐこともできるでしょう。

6 最後に

学生生活を振り返り思い出すと、私に接してくれた学生の方々、先生方の立派な人格や優しい性格に触れることで、今まで私の人生の中で、もちろんいいこともありましたが、否定的体験の積み重ねにより凍りついていた私の中の何かが溶けていくような感じがします。皆様の笑顔を忘れずに、今後降りかかってくる試練に耐え、前を向いて歩いていこうと思います。本当に2年の間、ありがとうございました。